

学生の声

中国語を学習して

教育地域科学部 異文化交流コース2年 免 ひとみ

中国語を学ぶ前は、日本語と同じ漢字を使っているのだからそんなに難しくはないだろうという思いがありました。しかし実際に学んでみると、その考えは甘かったと気づきました。最初の授業で登場したのは漢字ではなくアルファベット（ピンイン）でした。まずは漢字の振り仮名を読めるようにならないといけないのです。発音したり聞き取ったりすることがとても難しく感じました。でも、日本語にはない発音があったり、声調があったりして、本当に今までに触れたことのないものに触れたという感じでした。自分が今までに発したことのない音を発音するのは、とても新鮮でした。

また、日本語だったら外来語をそのままカタカナで取り入れてしまうけれど、中国語では外国から来た言葉であっても漢字で表すということが、当たり前だけれど面白いと思いました。音訳している場合もあるけれど、意味も音もうまく訳されているものを見ると、良く考えられているなと感じてしまいます。日本語だと、カタカナ語の意味が分からないということが良くあるけれど、中国語ではそういうことは少ないのではないかと思います。

少しずつ聞き取れるようになってくると、テレビのニュースなどで中国語を耳にすると気になるようになり、ほんの少しでも分かるととても嬉しく感じるようになりました。さらに、中国の言葉だけではなく文化などにも興味を持つようになりました。図書館で中国の事が書いてある雑誌を見てみたり、ドラマや映画を見てみたりしました。そのようにしていくと、日本と似ているところや違っているところをたくさん見つけることができ、どんどん世界が広がってゆく感じがします。日本だけを見てそれを当たり前だと思っていると自分の見る世界はそこまでだけれど、他の国にも目を向けると新しい発見があって刺激になると思います。

これからも学び続けて、自分の世界を広げていきたいと思っています。